

報道機関 各位

立命館アジア太平洋大学

2016年4月5日

APU リリース 2016-01

気仙沼市と立命館アジア太平洋大学が協定締結

～地域の持続的な発展と国際的に活躍できる人材の育成を目指して～

この度、宮城県気仙沼市と立命館アジア太平洋大学（大分県別府市）は、友好協定を締結することとなりました。本協定では、自治体と教育機関における連携のモデルとなるような相互の友好的な交流を推進し、地域の持続的な発展と国際的に活躍できる人材の育成を目指します。つきましては、以下の日程にて調印式を執り行いますので、お知らせいたします。

【 調印式スケジュール 】

日 時：2016年4月11日（月）9:00～9:30

会 場：宮城県気仙沼市役所 応接室（住所：宮城県気仙沼市八日町一丁目1-1）

出席者：気仙沼市 菅原 茂市長、赤川 郁夫副市長、菅沼 真澄副市長
APU 是永 駿学長、今村 正治副学長 他

次 第：

1. 市長挨拶
2. 学長挨拶
3. 立命館アジア太平洋大学（APU）の大学紹介
4. 写真撮影
5. 質疑応答

APUでは、これまでも大分県内全市町村（15市3町1村）及び、県外の自治体（長野県飯田市）と協定を締結し、それぞれの自治体と交流事業を進めてきました。本協定は、APUの学生にとって、気仙沼市を舞台にしたフィールドスタディーの実施や、復興支援における取組みを学ぶ機会となり、また「自由・平和・ヒューマニティ」「国際相互理解」「アジア太平洋の未来創造」を理念とする大学として、アジア太平洋地域の諸課題解決を担う人材の育成を目指します。

一方、「地方にある世界の港町」を将来都市像とする気仙沼市では、APUに在籍する多彩・多国籍な学生等との交流を通じて、国際的な視野や観光面でのニーズを学習し、標榜する「産業は国際的に展開」のための施策推進や、インバウンドを含めた交流人口の拡大を目指します。

【本発表資料のお問い合わせ先】

宮城県気仙沼市震災復興・企画部 震災復興・企画課 政策・調整係 : 菅野 TEL : 0226-22-3408
立命館アジア太平洋大学 学長室（広報）担当 : ジョーンズ、宮腰 TEL : 0977-78-1114

【宮城県気仙沼市 概要】

気仙沼市は宮城県の最北東端、北上山地の南東部に位置しています。

気仙沼湾は湾口に大島を抱き、四季静穏な天然の良港を形成しています。そのため、水産業を中心として産業が発展し、造船・製氷冷凍などの水産関連産業や商業の集積度が高く、特に漁船漁業は、遠洋・沖合漁船の全国有数の船籍港であり、地域経済の中で重要な位置を占めています。

また、三陸復興国立公園や海域公園、三陸ジオパークが日本ジオパークに指定されるなど、優れた海洋観光資源を有する三陸沿岸南部の観光拠点都市でもあります。

平成15年には全国初となる「気仙沼スローフード」都市宣言を行い、平成25年4月には日本で初めて「スローシティ」に認定されました。市民と行政が一体となって、地域の自然と文化を守り、食を活かした魅力あるまちづくりに取り組んでいます。

【市制施行】平成18年3月31日

【人口】66,604人（平成28年2月末現在）

【世帯数】26,235世帯（平成28年2月末現在）

【立命館アジア太平洋大学（APU） 概要】

100余年の伝統と歴史をもつ「学校法人立命館」が2000年4月に設立した日本初の本格的な国際大学です。世界各地から集まる国際学生が学生の半数を占め、教員も約半数が外国籍という多文化・多言語のキャンパスを創造しています。また、日本語・英語の二言語教育システムを展開しており、高度な言語運用能力の獲得とともに、世界の優秀な若者への日本留学の可能性を切り開いています。

開学以来136の国・地域から集まった国際学生がAPUで学んでいます。

名 称：立命館アジア太平洋大学（APU）

設 置 者：学校法人立命館（大分県、別府市との公私協力による）

所 在 地：大分県別府市

設 立：2000年4月

構 成：【学 部】アジア太平洋学部、国際経営学部

【大学院】アジア太平洋研究科、経営管理研究科

学 生 数：【国際学生】2,949人（84か国）

【国内学生】3,025人 計 5,974人（2016.3.31現在）

※学生数の確定は5月1日となり、現数値は暫定数となります。

【本発表資料のお問い合わせ先】

宮城県気仙沼市震災復興・企画部 震災復興・企画課 政策・調整係 : 菅野 TEL : 0226-22-3408

立命館アジア太平洋大学 学長室（広報）担当：ジョーンズ、宮腰 TEL : 0977-78-1114